

檜枝岐小中学校 社会科教育全体計画

めざす児童生徒の姿

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ◇資料から読み取ったことをもとに自分の考えをまとめ、周囲に伝えることのできる児童。 ◇社会の仕組み、産業、歴史と自分を結びつけて考え、自分なりの問いを持って課題に取り組める児童。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎的・基本的事項をしっかりと身につけ、社会的事象の意味や関連性を根拠を持って説明できる生徒。 ◇課題について必要な情報を収集し的確にまとめ、自分の考えを論理的に発表することができる生徒。



めざす児童生徒を育てる、9年間連続して取り組む学習スタイル

資料活用能力・表現力の育成	話し合い活動を重視した授業づくり	基礎基本の定着のための授業の工夫と学習習慣の形成
<ul style="list-style-type: none"> ○地図帳を活用したり、児童生徒に適した資料を精選して読み取りのポイントを明確にしたりすることにより、資料活用能力を高める。 ○課題に基づき、資料から読み取ったことを図表や作品にまとめる学習を取り入れ、表現力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べてわかったことを基に意見を出し合い、学び合い高め合う場を設定し、思考力・判断力を高め、主体的に社会に参画できる態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的事項を精選、明確にし、児童生徒の実態に応じた「わかる」授業を展開する。 ○授業と家庭での学習サイクルを構築し、学習習慣の確立を図る。



改善すべき児童生徒の実態

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ■学力テストの結果から、地図や統計、年表などの資料を読み取ったり、読み取ったことをまとめたりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学力テストの結果から、地理的分野を苦手とし、特に読図や統計資料の読み取る力が不十分である。 ■いくつかの社会的事象を関連づけて考察する力が不足している。